

令和3年第1回東海村議会定例会行政報告等要旨

令和3年3月1日

令和3年第1回東海村議会定例会の開会に当たり、行政報告等を申し述べさせていただきます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてでございます。

本村の感染状況ですが、年明けに急増し、一日当たりの感染者数が最大6人確認されるなど、拡大が懸念される時期もありましたが、クラスター等の発生もなく、昨日までの累計で60件となっております。また、1月に県独自の緊急事態宣言が発令された際には、村の公共施設も県に準じて休館としましたが、先月8日には再開でき、次第に落ち着きを取り戻しつつあります。その後、県独自の緊急事態宣言は23日に解除されましたが、引き続き、村民の皆様へは、感染防止対策の徹底をお願いしているところであります。

新型コロナウイルスワクチンの接種につきましては、県内では既に、国立病院機構茨城東病院を含む二つの病院の医療従事者への先行接種が終了いたしました。今後は、国のワクチン確保状況にもよりますが、まずは医療従事者向けのワクチンが順次配分されることになることから、現在、那珂医師会や接種を担当する医療機関等との最終調整を進めているところでございます。

住民の皆様への接種につきましても、まずは65歳以上の高齢者への接種に向けて、医療機関との調整、コールセンターの設置や接種券の発送などの準備業務を行っているところであり、今後は、

国や県との連携を図りながら、適時・適切な情報提供に努め、ワクチン接種を安全かつ円滑に進めてまいります。

次に、「ふるさと納税」についてでございます。

制度創設2年目となる令和2年度の本村の状況でございますが、返礼品につきましては、昨年度に引き続き村内事業所のご協力のもと、好評を博している特産品の「ほしいも」に加えて、完熟梨やシャインマスカットをはじめとするブドウなどを新たに認定し、前年同月比16品目増の91品目としたほか、特産品以外の体験サービスや代行サービスなどのPRにも努めているところでございます。また、寄附につきましては、令和3年1月末現在の前年度比で、受入件数が約3.8倍の6,297件、受入金額が約3.3倍の6,624万2千円となっており、全国の多くの方々からお申し込みをいただいております。

今後とも、この制度を通じて本村の魅力発信に努めるとともに、村内産業の活性化などに繋げてまいります。

最後に、(仮称)歴史と未来の交流館についてでございます。

令和元年7月から建設工事を進めてまいりましたが、昨年12月末に無事竣工を迎えることができました。コロナ禍においても中断することなく工事を進めていただいた施工関係者に、改めて敬意を表したいと思います。

現在は、文化財の移転が完了し、展示制作物や各種備品の設置、4月1日から先行スタートする事務機能の移転等を進めているところでございます。また、旧中央公民館の解体工事も始まったとこ

るであります。

今後も、開館後の運営方法や活動プログラムの検討など、当面準備が続きますが、開館を待ちわびていらっしゃる多くの村民の皆様のご期待に応えられるよう、7月24日の開館に向け、しっかりと取り組んでまいります。

それでは、行政報告の案件を申し上げます。

報告第1号及び報告第2号の寄附の受入れにつきましては、報告第1号は、舟石川学童クラブ保護者会 会長 ^{ふるいち}古市 こずえ 氏から、舟石川学童クラブの学童保育に貢献するため、一輪車置き場 一組の寄附の申出が、報告第2号は、イオン東海店同友店会 会長 ^{かしむら あきら}榎村 彰 氏から、新型コロナウイルス感染症対策のため、5万円の寄附の申出があり、これらを受け入れましたので、議会に報告するものでございます。

以上で行政報告といたします。